

施設の概要  
 所在地:愛媛県伊予市森甲91-1  
 グラウンド面積:11,500m<sup>2</sup>  
 設計:(株)東京ランドスケープ研究所 四国事務所  
 施工(照明設備):鉄塔/栗原工業(株) 松山営業所  
 電気/(株)東電通 松山支店  
 松山電設工業(株)  
 三徳電機(株)  
 球場竣工:平成7年9月20日  
 照明竣工:平成12年3月31日

## 市民球場が6基の照明用鉄塔のナイター設備を備えてリニューアル Renewed citizens' baseball ground is equipped with 6 lighting towers for the games in the evening

高効率・高演色の2kWメタルハライドランプを採用。  
 前面に光触媒膜付耐熱ガラスを使用し省メンテを実現。

Adoption of high-efficient and high-performance-color-lamp 2kW-metal-halide lamps

伊予市民球場は、伊予市が整備をすすめている「しおさい公園」内にあり、平成7年に公園内にある市民体育館と共にオープンしました。収容人員は2,000人で、市民をはじめとした近隣の住民に親しまれています。その後、使用者からの要望もあって球場に照明設備を取り入れることになり、平成12年3月に工事を完了、ナイターの使用も可能な球場として生まれ変わりました。

照明塔は、グラウンド面に強い影が生じないように配慮すると共に、空間の照度分布を良好にするため6基を配置し、グレアの低減と方向の異なる光が適度に混ざり合うことを考慮して、21m高さを採用しています。光源はバックネット側に位置する2基には2kWメタルハライドランプを各21灯(7灯×3列)、他の4基には2kWメタルハライドランプを各12灯(6灯×2列)ずつ備えています。ランプを装着した耐塩耐食形投光器は前面に光触媒膜付耐熱ガラス(透明)を採用し、付着した汚れを光触媒で分解することで、高所にある投光器の省メンテナンスを実現しました。それぞれの初期平均照度は全点灯時が内野部分約1,200lx、外野部分約800lx、1/2点灯時が内野部分約600lx、外野部分約370lxが得られ、グレアや色ムラの少ない、十分な明るさを確保しています。

### 照明コンセプト

Lighting design concept

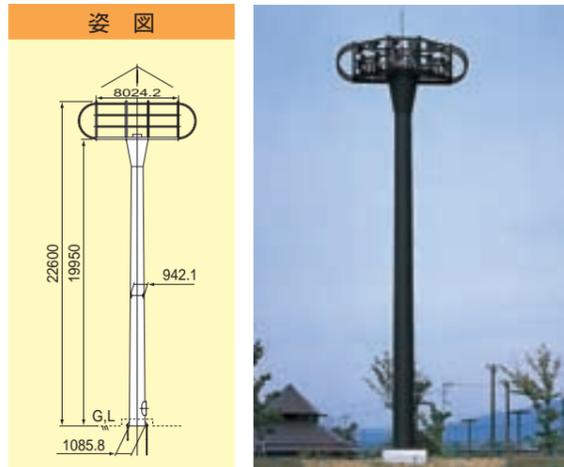
照度ムラの少ない快適なナイター設備の創出  
 高所にある投光器の省メンテの実現化



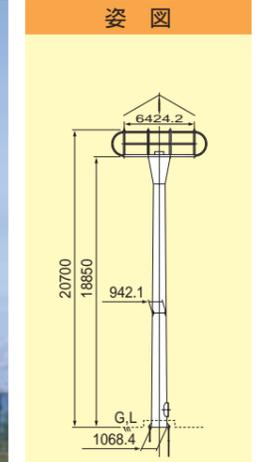
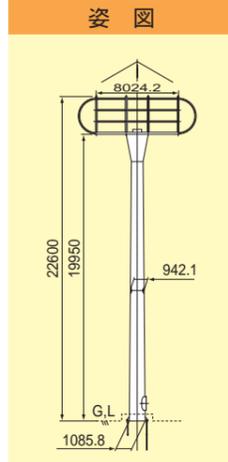
グラウンド照明昼間時  
 Energy-saving scheme is realized using heat-resistant-glass lamps with their front surface coated with photo-catalyst-films



バックネット側照明塔  
 Lighting tower on the ground in day-time  
 2kWメタルハライドランプを21灯(7灯×3列)備える

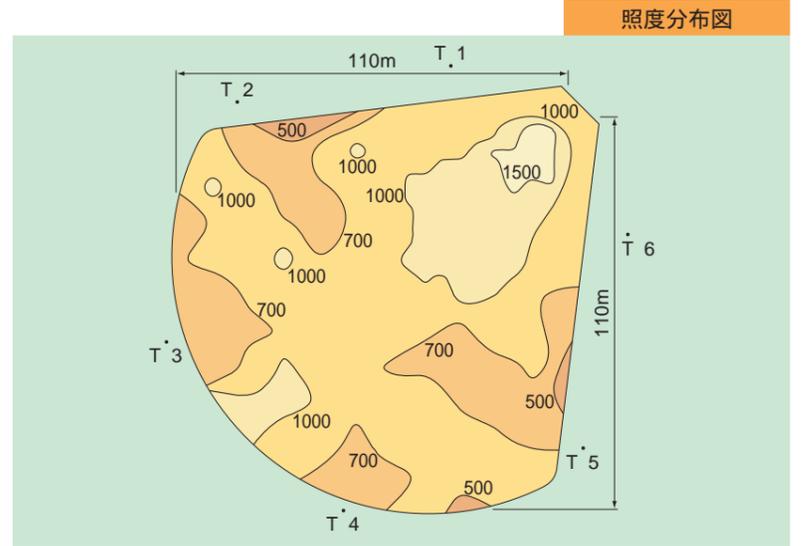


外野側照明塔  
 Lighting tower at the backnet  
 2kWメタルハライドランプを12灯(6灯×2列)備える



カード式照明自動点灯盤  
 When the ground-lighting is lit up  
 Automatic lighting panel with card slot machine

グラウンド照明点灯時  
 Lighting tower standing on the outfield  
 ナイターに充分な明るさを確保しつつ、均斉度にも留意した照明となっている



### 主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
照明鉄塔	光触媒膜付HID投光器(ダイナビーム2)中角配光形	HT-20013M-T1	66	MD2000B
	光触媒膜付HID投光器(ダイナビーム2)広角配光形	HT-20013W-T1	12	MD2000B
	光触媒膜付HID投光器(ダイナビーム2)狭角配光形	HT-20013N-T1	12	MD2000B
照明自動点灯盤(カード式)			TCB-04A	1